

市川市みどりの基本計画 第2次アクションプラン リーディングプラン評価表

施策名	進捗状況	外部委員からの意見		評価	今後の対応方針
		これまでの評価・意見	今後に向けての意見		
1 北東部水と緑の 回廊計画事業	<ul style="list-style-type: none"> 市の北東部を「北側」と「南側」に分け、北側ルートのマップを平成24年度に、南側ルートのマップを平成27年度に作成。 両ルートとも案内サインは設置できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> マップは持ちやすく、また色使いが良く必要な情報が見やすく作られている。 北側と南側ルートの表題が統一されておらず、分かりにくい。 現地は案内・誘導サインが少なく、迷いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察会等のレクリエーション活動に繋げ、利用者を増やしていければ良いと思う。 再発行の際は、個々の緑地の動植物の写真の掲載や、利用者やレクリエーションボランティアの意見も反映できるように。 	B (案内サインを設置出来なかったため)	利用者の意見を伺い、改訂版の作成も視野に入れて検討する。
2 国分川調節池 上部活用事業	<ul style="list-style-type: none"> 年3～4回程度のワークショップを開催し、その意見を踏まえ平成25年度から順次公園整備を実施。平成27年度までに中池(多目的広場、散策・休息広場、遊具広場、駐車場)を整備し、供用開始した。 ワークショップの活動として、草刈活動や自然観察会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民と協働して計画・管理が進められ、利用者も多く評価できる。 このような地道な取り組みを継続することによって、公園完成後の管理運営への市民参加、利用促進につなげていくことが期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理目標イメージを明確にし、ボランティア団体と行政の分担を明確にしておくことが大切。 道の駅と連携する運営を行い、公園の利便性・サービス向上を図る取り組みを期待する。 	A (活動内容を達成したため)	平成29年度までに下池の公園整備を終了させ、適切な維持管理に努める。また、市民がボランティア活動等に携われるようワークショップにおいて検討を進める。
3 ガーデニング・ シティいしかわ (ソフト関係)	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度より「まちなかガーデニングフェスタ」、「ガーデニングコンテスト」を開催し、年々参加者、来場者ともに増加し、地域交流の活性化、活動意欲の高場に繋がった。 同じく平成23年度より「ガーデニング・シティいしかわサポーター」の登録を開始し、ボランティアが市内10箇所で開催を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の活動機運が高まり、市内の環境に対する市民の主体性を育む活動として評価できる。 市民が主役となって作っていく「ガーデニング・シティいしかわ」の取り組みがとても良い。年々参加者、来場者も増加し効果が出ていると思う。 市内の花農家を訪ねるイベントなど、参加者にも農業者にも喜ばれる市川市ならではの試みが素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 次の段階としては、ガーデニングボランティアやオープンガーデンの参加者を中心とした協議会などを設置して、自主運営を推進させていくことが望ましい。 市内の学校のガーデニングにも、地域のボランティアの人が生徒に教える形で、生徒と触れ合える機会が作れると、もっと良くなるのではないのでしょうか。 近隣市のイベントもユニークな展開をしている中で、市川市らしさがどこにあるのかが、次の展開として市民から期待されているのではないかと。 	A (活動内容を達成したため)	引き続き広報活動に注力するとともに、交流会を開催するなど、ガーデニングに取り組む市民同士を繋ぐことで活動の活性化を図る。
4 ガーデニング・ シティいしかわ (ハード関係)	<ul style="list-style-type: none"> 国道14号をはじめとする主要道路、市川駅や本八幡駅をはじめとする市内主要10駅の駅前広場に花壇設置や植栽を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政と市民が連携して、ハード整備、維持管理を分担しており、高く評価できる。 限られた予算の中で、順調に整備されているものと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> フラワーガーデンデザイナー等の活用により、市の顔となる場所において年間デザインを作成し、展開すると良い。 多年草を活用することも検討することで、デザインの幅や年間の植替えの手間が調整される。 花壇はしっかりと緑の背景があってこそ美しいのであるから、街路樹を強く剪定しているような実態は改善する必要がある。 	A (活動内容を達成したため)	都市計画道路等の幹線道路において、既存植栽の植替えなど緑化を推進する。
5 小塚山公園 整備拡充事業	<ul style="list-style-type: none"> 拡充予定地の用地取得を進めた。 外環道路の開通時期が遅れたことに伴い、予定時期に施設整備工事を実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 外環道路の工事の遅れによって、この事業が遅れることはやむをえない。 外環との共存に向けた象徴的な取り組みの一つであり、高速道路と絡むためいろいろと難しい事業と理解するが、丁寧に対応されているのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 希少な動植物の生息地となることが期待できるので、充分配慮した形で進めてほしい。 基本計画作成時と諸条件や社会状況の変化があるならば、基本設計において見直しを行うことが望ましい。 	C (スケジュール通り行えなかったため)	平成33年度以降の供用開始に向けて事業を進めていく。
6 国府台緑地 整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 事業区域内の窪地の埋立、管理柵の設置、園路整備の各工事を実施した。 用地未取得の箇所があることから、設計は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画区域のほとんどは既に取得済みであることから、既取得区域の基本設計を進め、整備を進める方が良いのではないかと。 本格的な整備までの期間であっても、緑地機能を維持・発揮するための可能な事業を実施して、市民ニーズに応える取り組みが期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然資源の保全・活用する種や緑地の利用計画(管理目標を含む)を明確にした上で、緑地の計画・設計を行うことが望ましい。 ボランティアの方々と協力しながら、市川らしい里山公園に育てていくと良い。 	C (スケジュール通り行えなかったため)	事業区域の用地確保を目指し、事業を推進していく。
7 花と緑の活動 への支援	<ul style="list-style-type: none"> 市が実施していた「緑と花の市民大学」の後継事業として、10の市民講座を実施する財団へ費用補助を行った。 緑や花のボランティア団体に財団が行っている活動助成、花苗支給に対し、費用補助を行った。 財団が行っている緑化助成(生垣設置、屋上緑化、駐車場緑化)に対し、費用補助を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民大学が市民講座の形で続いていることは喜ばしい。 公益財団法人と連携することは有意義である。 	<ul style="list-style-type: none"> 市と財団の役割分担の内容を時々見直していくことが望ましい。 市民の主体性を高め、ボランティアを育成する上でも重要な事業である。 引き続き地域の景観の想像、維持、環境保全のために事業展開を期待する。 	A (活動内容を達成したため)	引き続き財団へのサポートを行い、市民との協働による花や緑に溢れた魅力的な地域の景観の想像と維持を目指していく。

評価区分:A(達成)、B(概ね達成)、C(未達成)